

Mémoire 2024

第84回 桜花賞(GI)



名手に導かれ桜の女王へ ステレンボッシュ

初コンビの「マジックマン」が見事、桜の女王へと導いた。

3歳牝馬三冠の初戦は、ここまでのレースの上位馬が揃った好メンバーの一戦となった。中心は阪神ジュベナイルフィリーズ組で、2歳女王アスコリピチューノが1番人気、クビ差2着のステレンボッシュが2番人気。以下、クイーンCを差し切ったクイーンズウォーク、アルテミスS勝ち以来の出走のチェルヴィニア、阪神ジュベナイルフィリーズ3着、フィリーズレビュー2着のコラソビートと続いた。

ショウナンマヌエラが逃げたレースは、桜花賞としては比較的、落ち着いていたペースで流れた。J.モレイラ騎手を鞍上に配したステレンボッシュは中団やや後方。短期免許での騎乗初日となった前日、いきなり阪神牝馬Sで重賞勝ちを果たした「マジックマン」は、3コーナーから徐々に馬群の中を進出しながら外へ出ていくと、4コーナーを回る直前にエンジンに点火し、一気に前へと迫っていった。

残り200m過ぎで先頭に立つステレンボッシュ。暮れのGIとは逆に、今度はアスコリピチューノが外から懸命に迫る。エルフィンS勝ちのライトバック、チューリップ賞を制したスウィープフィートも最後方か

ら2着争いに加わってくるが、ステレンボッシュの脚色は最後まで衰えず、3/4馬身差をつけてゴールした。

レース後、モレイラ騎手は「反応が素晴らしかったです。先頭に立つのが早すぎたとも感じましたが、能力の高い馬だからそれでも伸びてくれました」と初コンビのパートナーを絶賛した。

国枝栄調教師も「うまく外に出して理想的な競馬ができました」と名手の手綱さばきに感心。牝馬三冠に輝いたアパパネ、アーモンドアイに続く現役調教師最多の桜花賞3勝目に、「あの2頭に比べても手応えは同等のものがあります」と偉大な先輩を引き合いに出し、戴冠したばかりの桜花賞馬を称えた。

第84回桜花賞(GI)

4/7 阪神競馬場 1600m(芝・右・外) 晴・良 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/育成	人気	通過順位
1	ステレンボッシュ	牝3	55	J.モレイラ	国枝 栄	1:32.2	②	⑪⑧
2	アスコリピチューノ	牝3	55	北村 宏司	黒岩 陽一	3/4	①	⑧⑧
3	ライトバック	牝3	55	坂井 瑠星	茶木 太樹	クビ	⑦	⑫⑩
4	スウィープフィート	牝3	55	武 豊	庄野 靖志	1/2	⑥	⑬⑭
5	エトヴレ	牝3	55	鮫島 克駿	藤岡 健一	クビ	⑨	⑫⑫

ステレンボッシュ
栄光の蹄跡

12

エビファネイア [112]
ステレンボッシュ
ブルークランズ(ルーラーシップ)
2021.2.12 生 安平・ノーザンファーム



牝3
鹿
55
J. モレイラ
1983.9.26生
吉田 勝己氏
国枝 栄(美浦)

2023.12.10 阪神
阪神ジュベナイルフィリーズGI
18ト 5人 2(112)
55%。C. ルメール
芝1600良 1:32.6

2023.11.19 東京
赤松賞 1勝クラス
9ト 1人 1(—)
55%。T. マーカンド
芝1600良 1:33.8

2023.10.1 中山
サフラン賞 1勝クラス
7ト 1人 2(—)
55%。横山 武史
芝1600良 1:35.8